

市川森一顕彰委員会



当委員会は、諫早が生んだ、日本を代表する脚本家であり、諫早図書館の名誉館長でもあった市川森一氏の功績を顕彰する活動を行っています。

市川森一氏 略歴

昭和 16 年、諫早生まれ。鎮西学院中学校。県立諫早高校、日本大学芸術学部卒。ウルトラマンシリーズや「コメットさん」等の子供向け番組も多数手がけた。「淋しいのはお前だけじゃない」で第 1 回向田邦子賞を受賞。諫早を舞台としたドラマ「親戚たち」(主演・役所広司)、NHK 大河ドラマ「黄金の日」「山河燃ゆ」「花の乱」等、800 本以上の脚本を執筆。

芸術選奨文部大臣賞、日本アカデミー賞最優秀脚本賞、NHK 放送文化賞等、受賞多数。紫綬褒章受章。

日本放送作家協会理事長を経て会長、長崎歴史文化博物館名誉館長、諫早市立諫早図書館名誉館長、諫早市芸術文化連盟名誉会員等も務める。

長崎ものを題材とした小説『夢暦長崎奉行』・『蝶々さん』・『幻日』等も執筆。その他、幅広い分野で芸術文化の振興に大きく貢献した。

平成 23 年 12 月 10 日永眠。

市川森一顕彰碑

氏の功績を顕彰するため、市民の皆さまの寄付により、令和 3 年 11 月 21 日、諫早図書館南口庭園に建立。



<市川森一顕彰委員会事務局>

諫早市東小路町 10-25 市役所第 4 別館 諫早市芸術文化連盟内 0957-22-1103